

# かながわの交通

2018  
10

交通安全年間スローガン受賞作品（全日本交通安全協会会長賞）  
～一般部門（B）～歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

## 暗い道 私のお守り 反射材



秋の全国交通安全運動 出発式

(横浜市中区)



**道路横断には気をつけて！**  
高齢歩行者の事故が増えています。  
**油断大敵！**運転者も歩行者もルールを守って  
交通事故防止に努めましょう！

歩行者  
事故  
多発！

◎県内の交通事故発生概況(平成30年9月末現在) ◎県人口・運転免許人口

区分 年別	発生件数	死 者 数	傷 者 数
平成30年	19,263	111	22,919
平成29年	20,927	96	24,835
増 減 数	-1,664	+15	-1,916
増 減 率	-8.0	+15.6	-7.7

	総 数	男	女
県 人 口	9,179,666	4,577,528	4,602,138
免 許 人 口	5,638,509	3,226,377	2,412,132
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成30年9月1日、免許人口は平成30年8月末現在)

# 違法駐車追放運動

## ～首都圏放置自転車クリーンキャンペーン～

### 趣 旨

違法駐車や放置自転車・バイクが交通事故や交通渋滞の原因となっていることから、県民一人ひとりが交通ルールを守り、駐車マナーを向上させることにより、安全で円滑な交通環境を確保できるよう、県民運動に併せて、関係機関・団体が相互に連携を密にして、特に自転車・バイクの放置を防止するため「首都圏放置自転車クリーンキャンペーン」を実施します。

### 期 間

平成30年10月1日(月)から10月31日(水)までの1か月間

### スローガン

- ・ 違法駐車追放運動……………ちょっとだけ 甘えが招く 迷惑駐車
- ・ クリーンキャンペーン…………放置ゼロ キレイな街で おもてなし



### 交通安全協会の推進事項

- ・ 関係機関・団体と連携を密にして、違法駐車、放置自転車等の追放気運を盛り上げるとともに、併せて自転車利用者に対し、防犯登録と記名促進運動を実施する。
- ・ 運動の周知を図るため、違法駐車追放運動その他各種行事、広報誌、ポスター等各種広報媒体を通じて、積極的に広報活動を推進する。

平成30年度  
関東管区警察局長 連名表彰  
関東交通安全協会連合会会長  
～4団体、1事業所、31名が受賞～

この表彰は、地域、職場等において交通安全活動を積極的に推進し、交通事故防止に功績のあったと認められる団体及び長年にわたり安全運転に努めた無事故の優良運転者に対して行われるもので、本県では次の方々（団体）が受賞されました。

おめでとうございます

#### ◎ 交通安全功労団体

- 横浜中華街発展会協同組合 …… 代表 李 宏道 (加賀町)
- 大島4丁目町内会 …… 代表 藍原 晃 (川崎)
- 大師地区交通安全母の会 …… 代表 新井トキ子 (川崎臨港)
- 中央林間連合交通安全母の会 …… 代表 相川照美 (大和綾瀬)

#### ◎ 交通安全優良事業所

- 東急バス株式会社 …… 代表 山口哲生

#### ◎ 優良運転者

勾坂 哲 (加賀町)、有馬和正 (金沢)、妻嶋 孝、佐藤克之 (南) 柳澤義和 (鶴見)、茂木誠司、島 馨 (保土ヶ谷)、伊藤正孝 (旭) 佐藤 貢、安藤仁宗 (港南)、村松正也 (戸塚)、日沼幸恵 (栄) 太田佳夫 (泉)、永野一好 (瀬谷)、鈴木善雄 (川崎臨港)、中村 修、嘉山 清 (横須賀)、山口美智子、藤崎進一 (浦賀)、安田兼好 (逗子市) 伊草利房、長谷川康男 (藤沢北)、田中 勉 (茅ヶ崎地区)、栗山 博、宮ヶ谷博己 (小田原)、高沢節子、篠崎津恵子 (厚木警察署管内) 藤原加代子、落合政男 (大和綾瀬)、大勝 正、大勝英子 (津久井) (敬称略)

## 秋の全国交通安全運動の実施結果

秋の全国交通安全運動が9月21日から30日までの10日間行われました。各地区交通安全協会では安全運動期間中、地域の実情を踏まえて、地元警察署等と連携し交通安全パレードや街頭キャンペーンをはじめ、9月30日「交通事故死ゼロを目指す日」の取り組みなどを積極的に実施して運動の周知を図り、多発する二輪車や高齢者の関係する交通死亡事故の抑止を呼びかけました。（巻末参照）

また、9月18日には事前イベントとして、神奈川県警察主催による「秋の全国交通安全運動出発式」が横浜赤レンガパークで行われ、その後、同会場において「交通安全キャンペーン」を開催し、県警音楽隊の演奏、交通安全教育等の他、当協会提供による交通安全啓発物の配布など、広報啓発活動を展開しました。

運動期間中の交通事故(概況)は、前年同期と比べて発生件数、負傷者数は減少しましたが、死者数は6人(前年同期比+3人)で全国ワースト1位でした。

### 期間中の県下の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
本年	696	6	793
前年同期比	-155	+3	-179
増減率(%)	-18.2	+100	-18.4



### 期間中の全国の交通事故死者数(ワースト順位)

ワースト順位	①	②	⑥	⑨	全												
都道府県	神奈川	北海道	青森県	千葉県	埼玉県	静岡県	岡山県	宮城県	栃木県	東京都	長野県	愛知県	奈良県	滋賀県	福岡県	全国	
死 者 数	6	5	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	94	
前年同期比	+3	+3	+5	+2	+2	+2	+2	+1	+3	-1	-4	+2	0	+3	0	-3	0



## 高齢者交通事故多発地域の指定について

県内の平成30年上半期の交通事故は、発生件数、負傷者数はともに昨年同期に比べ減少しましたが、死者数は増加傾向にあり、高齢者(65歳以上)の関係する交通事故も多く発生しています。

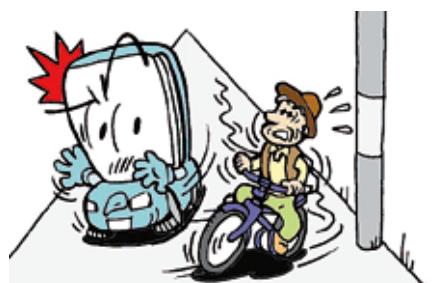
特に、全ての交通事故に占める高齢者が関係する交通事故の割合(構成率)は、高齢者人口構成比(高齢化率)を上回るペースで増加しており、引き続き高齢者が関係する交通事故の防止を進める必要があります。

神奈川県交通安全対策協議会(会長 黒岩神奈川県知事)では、平成30年上半期における高齢者が関係する交通事故の発生状況に基づき、

- 高齢者人口1万人当たりの高齢者が関係する事故の発生件数が、県内平均(19.2件)より30%(25.0件)以上多い  
又は、
  - 全交通事故に占める高齢者が関係する事故の割合(構成率)が県内平均(33.2%)より10ポイント(43.2%)以上高い
- 次の14地域(3市4区7町)を9月1日付で「高齢者交通事故多発地域」に指定しました。

### 高齢者交通事故多発地域

横浜市西区・中区、川崎市川崎区、相模原市中央区、逗子市、三浦市、厚木市、二宮町、大井町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町



## 地区交通安全協会会长会議の開催

9月13日(木)午後、県協会会館において地区交通安全協会会长会議が開催されました。

冒頭に新たに就任された9名の地区会長の紹介がありました。挨拶した板橋副会長から、日頃、交通安全活動に尽力されている地区協会会长などに対する謝意があり、また、今年は交通事故の発生件数、負傷者数は減少しているものの死者数は増加しており、特に高齢者と二輪車の関係する死亡事故が増えているので、これから年末にかけて交通事故防止活動の強化と今後の活動に対する協力依頼がありました。



来賓として県警察本部西方交通部長から、県下の交通情勢に触れ、依然として高齢者の事故、車両単独事故、二輪車関係事故が多く、バス停で止まったバスの後ろから横断していた小学生が亡くなる悲惨事故も発生していることから、一件でも交通事故を減らすため、各地区交通安全協会にあっては、各種キャンペーン等による協力をお願いしたい旨の挨拶をいただきました。

続いて県警察本部綿引運転免許本部長からは、運転免許行政における特に高齢者の交通事故防止相談等について、県安全防災局寺澤参事監からは「自転車事故・高齢者事故多発地区指定」などに基づく交通事故防止対策等について挨拶がありました。

会議では、菅原専務理事からは、本年の交通安全運動等の推進状況、来年の創立70周年記念式典開催や県協会の行事予定など当面の課題等について、長澤事務局長、大平経理部長、小玉講習部長からは、所管業務の推進状況等についてそれぞれ説明がありました。

## …………《企画安全委員会の臨時開催》…………

9月4日(火)、企画安全委員会が県協会会館において開催されました。

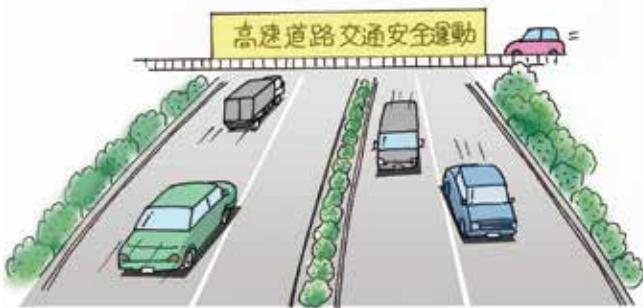
会議は、青木委員長をはじめ、委員7名の方々の出席を得て、「県協会創立70周年記念式典」等について審議・報告が行われました。

- 主な審議・報告案件は次のとおりです。
- 公益財団法人神奈川県交通安全協会創立70周年記念式典の開催について
  - 創立70周年記念誌「70年のあゆみ」の概要について



## 高速道路交通安全運動

高速道路交通警察隊と第二交通機動隊では、高速道路交通安全連絡協議会及び道路管理者と連携し、初冬の行楽期における高速道路や自動車専用道路における交通事故防止を目的に、利用者の皆さんとの「交通ルールの遵守」と「交通マナーの向上」に取組む運動を展開します。



### ● 期 間

平成30年11月1日(木)から同10日(土)までの10日間

### ● スローガン

交通ルールを守って 高速道路を安全に

### ● 推進の重点

- 重大事故に直結する速度超過違反を最重点とした交通指導取締りの強化
- 交通事故特徴の分析による交通事故総量を抑止する活動の推進
- 全席シートベルトと二輪車用エアバッグ・プロテクターの着用推進

※ 10月30日(火)東名高速道路下り海老名サービスエリアにおいて、

「高速道路交通安全運動出陣式・交通安全キャンペーン」を実施します。(雨天中止)



## 第41回「自動車なんでも相談所」の開設

自動車の使用上及び利用上で困っていること、アドバイスの欲しいことなど自動車全般について、何でも相談してください。相談は無料です。

**相談日時** 11月8日(木)・9日(金)両日午前11時～午後5時

**相談場所** 横浜駅東口「新都市プラザ」(そごう地下2階正面入口前)

**相談内容** ①自動車の売買に関する事

②自動車の故障、整備・車検に関する事

③バス、タクシー利用上の意見・要望

④荷物の運送や引越の相談

⑤交通事故や自動車の税金に関する事

**相談員** 共催・後援団体の担当者等

**主 催** 一般社団法人神奈川県自動車会議所

**共 催** 公益財団法人神奈川県交通安全協会等

**後 援** 関東運輸局神奈川運輸支局等



## 交通事故の悲劇に学ぶ(63)

## ● 「弱き心の代償」 会社員(39歳)

妻子と三人で帰りを楽しみに待つ両親宅へ帰省する。その中、私は事故を起こしました。

秋のその日、私は飛行機を降り、そこからレンタカーで高速道路を運転していました。この高速道路の通行量は日本でも少ない道路の一つで対面通行でした。

走り始めて30分位単調な道を走っていた時、突然車にガタガタとした振動が伝わりました。右のタイヤが車線分離帯に乗り上げたものでした。私は咄嗟にブレーキをかけ、ハンドルを切りました。その時、車は左に流れるように滑っていたのを覚えています。その後、車はコントロールを失い、反対車線に飛び出し、対向車と正面衝突しました。

私は事故の衝撃のためか、対向車とぶつかった事を覚えていません。事故後、気が付いた時には、病院のベッドで身動きもできず、口には管が入り、話もできない状態でした。妻子の状況も分からぬまま数日後、子供がより大きな病院に移る事となり、子供を一目見せてもらえる事になりました。生命の危機に瀕して血の氣のない子供とあちこちにあざのある妻を見て、初めて二人が怪我をした事が分かりました。

事故から20日余り、車椅子に乗れるようになったある日、病院の別室で私の交通事故で3歳のお子様と、そのご祖父様が亡くなった事を知らされました。そして、対向車とぶつかった事を悟りました。その時は、冷静を装いましたが、頭の中はパニックでした。二人もの人の命を殺めてしまった。人の役に立ちたいと思い、生きてきたのに、元に戻す事はできないだろうか、色々な事が頭の中を駆け巡りました。

退院後、警察官の取り調べを受ける中で様々な状況が分かつてきました。互いに95km位の速度で衝突したそうです。事故の状況は分かったものの、原因は全く思い出せませんでした。警察から居眠りを指摘されましたが、眠かった記憶がなく、睡眠も取っていました。車を運転するので前日から飲酒も控っていました。また、よそ見の記憶もありません。結局、様々な状況から居眠りが原因という事になりました。

被害者ご遺族の方には、亡くなられた事を知った直後から謝罪の機会を頂きたくとお願いしましたが、受け入れてもらえないでした。警察の調べが終わった後、「手紙なら受け取る」と連絡があり、心を込め何度も書き直し、やっとの思いで手紙



イラストは本文とは関係ありません

を出しました。

しかし、ご遺族の方からは遅いとお叱りを受けました。ご遺族の方の心情が理解できていなかったと反省しています。ご遺族の方とは被害者参加型の裁判でお会いしました。公判で聞いたご遺族の方の悲痛な思いは今でも忘れられません。出所後、お許し頂ければ、お会いして謝罪したいと思います。

裁判の結果、私は禁錮2年2月となり、仕事も社宅であったマンションも失いました。服役後も私は居眠りが信じられず、事故を他人事のように思う事もありました。

しかし、原因は私以外にはありません。事故の直前は眼かattaはずです。体調が悪かったかもしれません。休憩すれば事故は防げたはずです。これらの変化を感じ取れず、休まなかつたのは自分の心の弱さにあると気付きました。私は今、市原刑務所にて自分を見つめ、弱さを克服するために更生の日々を送っています。

現在、ご遺族の方に、命日やお盆などに謝罪の手紙を送り、私の家族よりお供え物を届けてもらっています。今後も謝罪は一生続け、少しでもご遺族の方に寄り添えるように努めたいと思います。

皆様には、ハンドルを持つ者の責任の重さ、常に気を緩めない事の大しさ、シートベルトの大切さをお伝えしたいと思います。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行  
「贈りの日々(第52集)」から～

## 賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 三橋建設(株) 横浜市青葉区あざみ野
- (株)イワサキ 横浜市泉区和泉町
- 楠原輸送(株) 横浜市神奈川区東神奈川

## この人 153



加藤  
会長  
葉山町交通安全協会  
清さん



### こんにちは 「相模原交通安全協会」です

私たち相模原交通安全協会は、井上会長以下、理事、支部長、代議員あわせて約230人、18支部で『地域から交通事故を無くそう!』を合言葉に、交通安全キャンペーンやパトロール、学童の見守り活動等の交通安全活動に取り組んでいます。

当協会の担当区域である相模原市中央区は、相模台地に位置し、道路幅も広く、平坦な地形であることから、車や自転車の通行量が多い地域です。このため、交通事故の発生件数は、常に県内の上位にランクされているなど、交通事故に関しては、大変不名誉な地域もあります。特に、自転車の事故については、相模原市において「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」が制定され、私たちも自転車のマナーアップ運動に努力しています。ぜひ相模原を運転される皆様にあって

葉山町は、夏になれば海水浴で賑わい、四季を通じて山々には花が咲き乱れ、海と緑のコントラストがとてもマッチした個性豊かな別荘地として名を馳せています。

また、相模湾に面していることから、葉山御用邸から海を眺めますと、右は丹沢山系、正面に靈峰富士山、左手には箱根連山を一望できる絶景の景勝地であります。

大正天皇は、葉山御用邸で療養中の大正15年12月25日に崩御なされました。ですから、昭和の年号は葉山町から生まれたもので、波瀾万丈な昭和の幕開けとなりました。

葉山町は御用邸を中心に急発展を遂げた町で、別荘地としても一級の地であったことから、大手企業の保養所や政界を始め文学界、芸能界の方々など著名人が住居や別荘地として利用しています。

この地で産湯をつかり、性は加藤、名は清として、この葉山町にどっしりと足を着けてまいりました当協会の加藤会長は、温厚で責任感が強く、誰からも好かれる性格の持ち主で、葉山町会議員を長年経験した折りに培った人望により、現在も地区バレーボール協会会长、地元町内会長等の活動の他、近年では被害者支援ネットワーク副会長の

活動を積極的に行い、地域はもちろんのこと各団体や組織等にも幅広く名を知られています。

こよなく葉山町を愛する故に「安全に暮らせる町」との思いも込めて、歴代の葉山警察署長らと懇親があり、交通安全協会会長として警察活動と一体感を持って、葉山町の交通安全活動に積極かつ果敢に取り組んでおります。

三年前の夏に起きた、飲酒の上の交通事故には心が痛み「こんな葉山じゃいけない」と一念発起し、海水浴場を持つ各町内会長の協力のもと「飲酒運転撲滅」のぼり旗を全13箇所に設置して、飲酒運転の抑止に努めており、特に近年の高齢者の交通事故にあっては「起こさせない、被害に遭わせない」との思いから、高齢者の自転車教育や安全教室の企画に力を注いでいます。

現在、葉山警察署管内では、「交通事故ゼロの日」が、1,100日以上更新中であり、今後も各種交通安全活動を通じてさらに更新していきたいと思っております。

(取材協力:葉山町交通安全協会)

は、安全運転をお願いします。  
当協会の主な活動について紹介します。

特別なキャンペーンとして、春に盛大に行われる『市民桜まつり』で交通安全パレードを行うほか、『交通事故をブロック! ブロッコリー作戦』、『飲酒事故いかん・みかんキャンペーン』と銘うって、地元産のブロッコリー・みかんを配布して交通事故防止を訴えています。

また、「相模原駅伝競走大会」、「上溝夏祭り」、「水郷田名の花火大会」、「相模原市防災訓練」等のイベントには、交通指導員が出動して市民の安全を確保しています。

各支部では、それぞれ活動日を設け、地域の交通量の多い場所で交通安全啓発品を配布し交通事故防止を訴えるほか、自治会、学校、交通母の会等、地域の団体と協力して交通安全の普及啓発に努めています。このような地域に根ざした活動が、私たち交通ボランティアのやりがいでもありますし、交通事故を



無くす一番の方策だと思い活動を続けています。

当協会は、今年で創立70周年となりました。これも『地域から交通事故を無くそう』という声に支えられたおかげであると思いますが、何よりも免許会員の皆様のご理解とご協力があってのことだと感謝いたしています。

今後も地域の皆様に必要とされる交通安全協会を目指し、努力してまいります。

(増田 記)

## 地区交通安全協会の活動紹介



**横須賀** 一日白バイ隊員を委託し三笠商店街での交通安全キャンペーン



**旭** 鶴ヶ峰駅前での交通安全キャンペーン



**加賀町** 一日警察署長を委託し日本大通りでの交通安全キャンペーン



**戸部** 横浜駅東口での交通安全キャンペーン



**川崎** 一日警察署長を委託しチネチッタ通での交通安全キャンペーン

## ～秋の全国交通安全運動～



**藤沢市** 一日警察署長を委託し辻堂駅前での交通安全キャンペーン



**大和綾瀬** 大和駅前での交通安全キャンペーン



**足柄** 松田警察署前での交通安全キャンペーン



**鎌倉** 鎌倉駅前での交通安全キャンペーン



**港北** 新横浜駅前での交通安全キャンペーン

## インフォメーション

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| ●自転車安全教育指導員講習会 | 11月 9日(金) 辻堂交通公園    |
| ●二輪車安全運転講習会    | 11月10日(土) 運転免許センター  |
| ●飲酒根絶大会        | 11月16日(金) 神奈川公会堂    |
| ●自転車安全教育推進員会   | 11月22日(木) 県協会会館     |
| ●二輪車安全運転推進委員会  | 11月22日(木) 県協会会館     |
| ●県交通安全功労者表彰式   | 11月26日(月) 県立青少年センター |